

○春浦院しゅんぽうゐん〔同所の南車街の西側にあり、檀那一柳土佐侯〕

〔当院方丈の画は都て雪溪せつけいの筆なり。又林泉は虎溪の三笑を象て妙景あり。こゝの什宝に福富ふくとみと名づくる戯画の軸の物あり、妙筆にして画師つまびらか詳ならず、往昔そのかみの土佐家とさの筆威なり。譬たとへば鳥羽僧正とばのそうじやうの書れし放屁軍に似たり、少しく上へに文段ありて、をかしく面白く席上に大笑ひを催す名画なり。時々よりく高貴青雲家せいうんへも上覧に備ふ、世に名高し〕